

H25年度 生理学研究所研究会
「構造の多様性に立脚した糖鎖機能の解明に向けて」
世話人：池中一裕、岡 昌吾、野村一也、古川 清（代表）
日時：平成25年11月14日14：00～15日13：00
会場：生理学研究所・明大寺地区1階大会議室

11月14日（木）

開会の挨拶（研究会の趣旨説明） 14：00-14：10

講演1 14：10-14：40

タンパク質の糖鎖修飾の場と機能

古川 清（長岡技科大大学院・工学研究科）

講演2 14：40-15：10

比較糖鎖生物学：これからの開拓領域

鈴木 詔子（東京大学大学院・新領域創成科学研究科）

講演3 15：10-15：40

糖鎖機能の解明に向けた糖タンパク質精密化学合成

梶原 康宏（大阪大学大学院・理学研究科）

Coffee Break 15：40-16：00

講演4 16：00-16：30

糖鎖研究のための1分子イメージングの可能性と課題

鈴木 健一（京都大学・iCeMS）

講演5 16：30-17：00

糖脂質解析の新たな展開に向けて

樺山 一哉（東海大学・糖鎖科学研究所）

講演6 17：00-17：20

ケラタン硫酸による脊髄発生の制御

橋本 弘和（生理学研究所・分子神経生理）

講演7 17：20-17：50

プロテオグリカン研究の魅力～細胞の分化を制御するコンドロイチン硫酸

北川 裕之（神戸薬科大学・薬学部）

講演8 17:50-18:10

脳内新規シアル酸含有糖鎖の構造と機能解析
鳴海 麻衣 (生理学研究所・分子神経生理)

講演9 18:10-18:40

線虫 *C. elegans* でこそわかる糖鎖の機能の解析
野村 一也 (九州大学・大学院理学研究院)

懇親会 19:00/30~ (会場:)

11月15日 (金)

講演10 9:00-9:30

GON ドメインによる ER-Golgi 輸送制御と 2 型糖尿病における意義
三谷 昌平 (東京女子医科大学・医学部・第二生理学教室)

講演11 9:30-10:00

ゴルジタンパク質のゴルジ体形成における機能解析
佐藤 あやの (岡山大学大学院・自然科学研究科)

講演12 10:00-10:30

糖鎖を見る: 分子模型からムービーへ
加藤 晃一 (名古屋市立大・薬学部, 自然科学研究機構)

Coffee Break 10:30-10:45

講演13 10:45-11:15

大規模ターゲットプロテオミクスによる細胞内ネットワーク構造解明
松本 雅記 (九州大学・生体防御医学研究所)

講演14 11:15-11:45

多様性の中に存在する糖鎖の厳密な発現制御
岡 昌吾 (京都大学・医学部)

総合討論 11:45-13:00

司会: 池中 一裕